



コマニーグループ CSR報告書



コマニーはこう考えます

■ 社是

我等の精神は人道と友愛である

「人道」とは人間として何が正しいかを考えて正道を歩むことであり、「友愛」とは仲間に対して家族のように親愛の情をもって接し、互いの成長を願って切磋琢磨していこうというものです。

本当に大事なものは、「金銭ではなく心である」つまり人と人、心と心のつながりを最も大切なものとして経営の基軸に据えることがコマニーであると創業者が明示し、その精神は今も脈々と受け継がれています。

■ 経営の理念

全従業員の物心両面の^{しあわせ}幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する

会社が存在する目的として示しているのが、経営の理念です。

コマニーが存在する目的は、そこに集う全従業員が仕事を通じて物と心の両面の幸福を追求することです。それは、人間として正しい道（人道）を貫き、自分のためでなく、人のためにという利他の実践を通じて事業の発展によって社会に貢献することで実現できると考えています。

コマニーは小松のまち・人に育まりました



小松空港



勸進帳の里 安宅の関



名産品「トマト」



那谷寺



あわづ温泉



尾小屋鉱山資料館・
メインロード



コマニー野球部



子供歌舞伎



小松うどん



木場潟カメー競技場



石川県
こまつ芸術劇場うらら



小松市の
木(松)・花(梅)



こまつドーム



航空自衛隊
小松基地



サイエンスヒルズこまつ



鞍掛山
トンボの楽園

企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきだと考えています

「現代の世の中は乱気流の時代である」とマネジメントの父ドラッカー氏が表現されてから四半世紀、現在はまさに乱気流が常態化しているように思います。我が国では、人口減少、少子高齢化、正規雇用者数減少における若者の低所得化、晩婚化などの社会問題に加え、震災や水害、噴火などの天災が相次ぎ、先行きが見えない状況が続いています。世界に目を向けますと、依然として戦争やテロが頻発し、世界の過半数がBOPといわれる低所得層の方々が占め、十分な生活ができていない現状があります。

昨今、企業の社会的責任(CSR)の重要性が取り沙汰されておりますが、「我々企業の役割は何か」と今こそ問い直されているのではないかと思います。そもそも企業の存在意義とは何かと考えますと、まさに乱気流の時代である現代の中で、起きている問題や課題に向き合い、人や社会や世の中がより豊かで幸福になるために営んでいくことではないかと思うのです。

私たちコマニーは、まずベースとして「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきである」という確固たる信念をもち、この実現のために活動してまいります。そして私たちは、創業当初より「我等の精神は人道と友愛である」という社是を掲げ、人間として正しいことを貫くということ、仲間や人を思いやる心をもち、切磋琢磨してお互いに成長発展していくことを大切にして経営を行ってまいりました。この精神のもと、私たちは経営の理念にありますとおり「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」ということの実現に向け、邁進してまいります。

コマニーの事業は、パーティションとともに歩んできました。日本が高度経済成長に活気づいている約50年前、立ち並ぶオフィスビルの中に働く空間をつくることから私たちの事業はスタートしました。それから、半世紀が経ち、オフィスにとどまらず、工場、病院、福祉施設、教育施設、公共施設など、多くの空間を創造してきました。私たちはこれからも、人が、より良く働き、より良く学び、より良く生きるための環境づくり、人づくりができるよう、知識を高め技術を磨き、絶えず前進してまいります。

さらに、私たちは世の中の幸福により大きく貢献できるよう、事業活動を通じて得られた利益を事業充実のための投資や、株主様への還元、従業員の物心両面の幸福、社会貢献活動などに有効活用し、貢献の循環を生むよう努めてまいります。

私たちが目指すCSRとは、事業活動のすべてにおいて、人、社会、環境との調和の中で共存共栄し、人類、社会の進歩発展に貢献すること、そして、それを通じて当社に集う全従業員が生きがい、働きがいを感じていきいきと生きることを実現することです。

代表取締役 社長執行役員

塚本 幹雄



コマニーグループCSR方針

私たちコマニーグループは、企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきであるという信念のもと、創業当初より貫いてきた人道と友愛の精神をもち、幸福にすべき全てのステークホルダーの皆様、社会全体との共存共栄のうえに持続可能な未来を築いていくことに努めてまいります。

○ お客様第一の追求

私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から販売・生産・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安全で高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造してまいります。

○ 地球環境との共存

私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」そのものがもつエコ特性を活かし、商品展開を推進すると共に、生産活動において発生するエネルギーに対しても省エネ対策に取り組み、自然と共生できる企業活動を推進してまいります。

○ 人間性尊重の職場づくり

私たちは、すべての従業員が主役となり、働きがいと成長を感じられる職場環境を実現するため、一人ひとりの人間性を尊重し、活躍の場与えられる制度づくりと、常に明るく前向きに活動できる組織風土づくりに努めてまいります。

○ 社会貢献活動

私たちは、将来にわたって子どもたちに明るい未来を残すため、従業員自らの良心によって主体的に活動することを基本に考え、地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。

○ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

私たちは、経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営効率を高め、公正で迅速な意思決定の向上に努めていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。

今後も経営の健全性および透明性を確保するために、経営監督機能および法令遵守体制強化の重要性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。



コマニーグループのCSR

2016年、おかげさまでコマニーは創立55周年を迎えることができました。私たちコマニーグループは、当社の経営の理念「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」のもと、全従業員がこれを共有・実践し、社会から信頼され、愛される企業を目指します。

社会・お客様から必要とされ、信頼に満ちた企業であるために



55



コマニーは55周年

1961(昭和36)年、事務用のキャビネットを扱う「小松キャビネット株式会社」として誕生。その後、社名を株式会社コマツパーティション工業、コマニー株式会社と改称し、2016年にはおかげさまで創立55周年を迎えることができました。これを記念してシンボルマークを作成、歌舞伎役者の市川海老蔵さんと当社社長塚本幹雄との鼎談をはじめとした55のミッションに社員一丸となって挑戦しています。

CONTENTS

1 経営理念/トップメッセージ

- 1-1 社是・経営の理念
- 1-2 トップメッセージ
- 1-3 コマニーグループのCSR

2 お客様第一の追求

- 2-1 製品への取り組み
- 2-2 品質への取り組み
- 2-3 コマニースマート施工

3 地球環境との共存

4 人間性尊重の職場づくり

- 4-1 人づくり
- 4-2 仲間との絆を深められる職場づくり
- 4-3 ダイバーシティの推進
- 4-4 安心・安全に働ける職場づくり

5 社会貢献活動

- 5-1 地域貢献
- 5-2 日本貢献
- 5-3 世界貢献

6 コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

2 お客様第一の追求

私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から販売・生産・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安全で高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造してまいります。

2-1 製品への取り組み

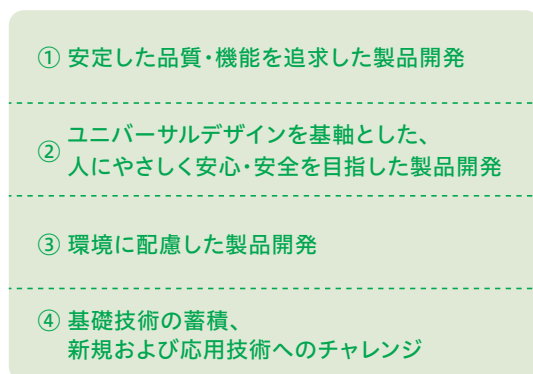
コマニーは創業以来、お客様のご要望に応え、将来の社会を的確にとらえ、時代を先取りした商品開発を行っております。そして、これまで培ってきた数々の技術的ノウハウをベースに、「品質・機能」「安心・安全」「環境・社会貢献」の3つをコンセプトに掲げ、優れた機能性・優れたデザイン性を追求し、お客様に感動という最高の価値を提供すべく、快適空間・機能空間を演出できる「ものづくり」を目指しております。

コマニー製品開発における3つのコンセプトと4つのこだわり

3つのコンセプト



4つのこだわり



お客様に
感動という
最高の価値を提供

パーティションの特徴

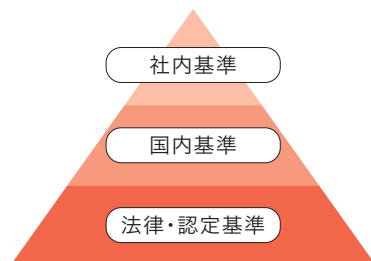
パーティションは一般建築の壁とは異なり、レイアウト変更や移設・一部交換といった環境の変化に対して容易に対応することができ、リユースやロングライフ化といった環境に優しい特性をもっています。



	用 途	主な商品
オフィス市場	ワーカー空間の仕切、トイレ	不燃・ガラスパーティション、スライディングウォール、トイレブース
工場市場	工場内の仕切や休憩室、トイレ	スチール・アルミパーティション、ファクトリーブース、トイレブース
学校市場	廊下と教室の仕切、トイレ	スクールパーティション、スライディングウォール、トイレブース
医療・福祉市場	居室空間の出入り口ドア	木製吊戸、鋼製吊戸、トイレブース

○ 1. 安定した品質・機能を追求した製品開発

私たちは、お客様に安定した品質・機能をもつ商品をお届けすることを追求しています。そのため、国内基準よりも厳しい社内基準を定め、その基準に適合した製品開発を行っています。



社内試験風景



○ 2. ユニバーサルデザインを基軸とした、人にやさしく安心・安全を目指した製品開発

人に優しいものづくりを目指し、すべての人が便利に、快適に使える商品をご提供するために、ユニバーサルデザインを基軸とした研究を重ねています。この研究では、実際にいろいろな人にご使用いただき、検証を重ね、その結果を製品開発に活かしています。

ユニバーサルデザイン研究の検証風景



勉強会の風景



○ 3. 環境に配慮した製品開発

多様な命を育む美しい地球を次世代へと受け継いでいくために、コマニーでは環境保護に配慮したエコ商品の開発に積極的に取り組んでいます。



コマニーが独自に開発した環境対応製品(トイレブース)

エコ商品とは

区 分		基 準
エコマーク認定商品		(公財)日本環境協会が認定するエコマーク認定品
グリーン購入法適合商品		グリーン購入法に定める基準に適合した商品
コマニーエコラベル商品		社内基準(・再生資源利用)に適合した商品

○ 4. 基礎技術の蓄積、新規および応用技術へのチャレンジ

お客様のニーズは常に変化し続け、世の中の技術も進化を続けています。そのお客様の多様なご要望にお応えし、商品付加価値を向上させるために、大学機関との共同研究などを行い、基礎技術を蓄積するとともに、新しい技術・応用技術に対して常にチャレンジしています。

大学機関との共同研究



2 お客様第一の追求

2-2 品質への取り組み

コマニーでは、愛情のこもった完璧な品質の製品・サービスを提供することで、お客様に感動と満足をしていただき、信頼される企業活動を推進しております。そのために右記の4点に徹底して取り組み、多くのお客様に喜んでいただくとともに、社会に貢献してまいります。

- ① 製品仕様の法令遵守の徹底
- ② お客様からのクレーム・苦情ゼロの追求
- ③ 常に市場とリンクした品質基準のフィードバック
- ④ 小集団活動による技術力の向上

品質方針

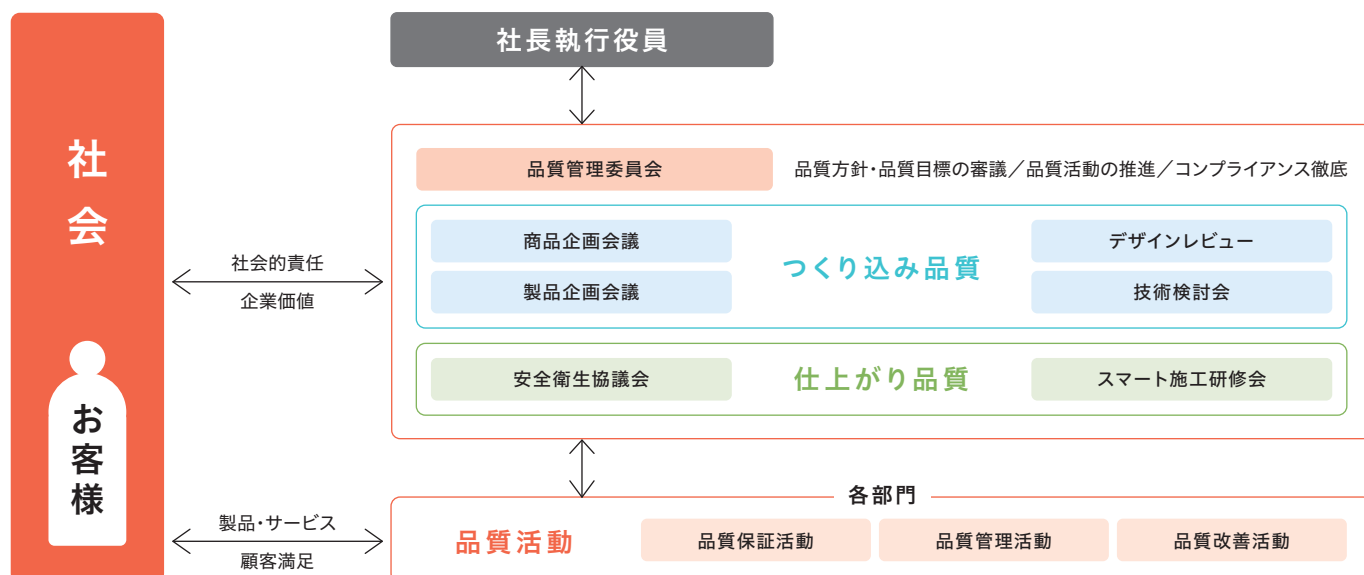
お客様の要求品質を的確につかみ、お客様に信頼され、満足していただける製品・サービスを提供できるよう

1. 設計・製造でのつくり込み品質の向上
2. 施工での仕上がり品質の向上
3. 顧客満足度の向上

これらを品質方針とし、それぞれの品質目標を設定し、定期的に確認を行い、製品およびマネジメントシステムの継続的改善を行います。

品質保証体制

コマニーでは、開発・製造から販売・施工・アフターサービスまで一貫してお客様満足の向上につながる製品品質の確保を目的として、全社横断の品質管理委員会を毎月開催しています。この委員会には、生産部門、物流部門、営業・工務部門、資材調達部門、施工部門の責任者が参加し、品質に関してお客様から寄せられたご要望などの情報共有、課題や改善計画についての意見交換を行っています。また、商品企画からサービスに至る各ステップにおいては、デザインレビューをはじめとする評価会・検討会や数多くの品質試験装置による性能試験を通して、徹底した品質確認を行っており、各部門の専門的な知見を持ち寄ることで、全社で品質向上を図っています。

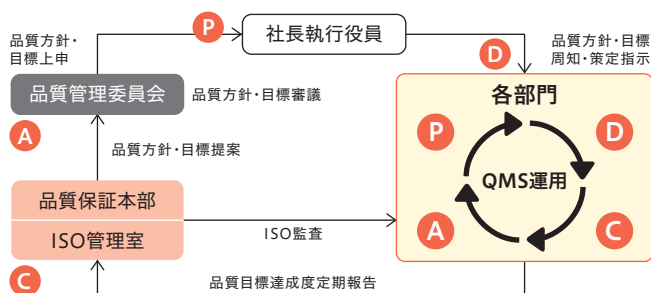


品質活動の取り組み

コマニーでは、品質保証活動の企業への定着を目指し、業務と一体となった品質改善活動を実践しています。そのため、品質マネジメントシステムを運用するとともに、人・設備・材料・方法を切り口とした品質改善やロスの改善を行うTPM活動、品質管理教育に取り組み、ものづくりのベースである人づくりを重点として活気ある職場をつくり上げています。

○ 1. 品質マネジメントシステム(QMS)の運用

コマニーでは、品質重視の製品づくり、サービス提供を徹底するため、全社品質マネジメントシステムを運用しております。全社で取り組む品質方針・目標や重要施策は、「品質管理委員会」での審議を経て社長から各部門に提示され、各部門では、品質方針・目標に沿って部門目標を設定・活動いたします。



○ 3. DASH活動(小集団活動)を通じた人材育成

各職場ごとに結成されたグループが、方針に基づきテーマを挙げ、改善活動を行っています。優秀なグループは年2回開催される全社大会で全社員に活動内容を披露し、互いの改善技術をさらに磨き上げることを狙いとしています。



DASH活動全社大会

○ 2. TPM活動(トータル・プロダクティブ・メンテナンス)

TPM活動とは全員参加による生産保全活動です。具体的にはあらゆるロスを未然に防止する仕組みを各現場で構築し、生産部門、技術部門、管理部門などあらゆる部門にわたってトップから第一線の従業員まで、全員で行う活動です。コマニーではその活動を認められ、1996年にTPM優秀賞第1類を、1999年にTPM優秀継続賞第1類を受賞しています。



TPM優秀賞第1類



TPM優秀継続賞第1類

○ 4. 安心・安全な製品づくり

コマニーでは、お客様に製品を長く安心してお使いいただくために、社内独自の技術標準(PIS)を適用した性能試験と耐久性試験を繰り返し行い、製品の安全性と、品質機能を定期的に評価・確認しています。また、世界基準の燃焼試験機械であるコーンカロリメータを業界では初めて自社内に導入し、不燃認定を取得している製品に対しても社内で定期的な不燃性能試験を行い、一定した品質を保持し続けているかを確認しています。



燃焼試験機による試験風景



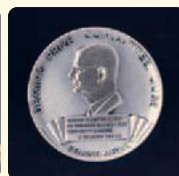
コーンカロリメータによる試験風景

デミング賞受賞

コマニーは、全社的な品質管理を実施したことによる顕著な効果を認められ、1980年に(財)日本科学技術連盟が主催する「デミング賞」を業界で初めて受賞しました。



デミング賞授賞式



デミングメダル

2 お客様第一の追求

1 2-3 コマニースマート施工

パーティションは、最終工程である施工の出来栄でお客様の評価が決まります。スマート施工とは、施工を完璧にやり遂げ、最高の商品をお届けすることでお客様に感動と信頼をしていただき、同時に施工技術者が誇りとやりがいを感じられることを目指したコマニー独自の取り組みです。

スマート施工の確立に向け、施工技術者が施工技術を磨くのはもちろん、人格を高め、品格ある所作を身に付けることにより、お客様から安心して仕事を任せていただける、超一流の施工体制の構築を推進しております。

コマニーが目指すスマート施工



コマニーの施工=スマート施工

コマニースマート施工をブランドに高める！

○ スマート施工の取り組み

スマート施工研修

コマニーグループの施工サービス会社であるコマニーエンジニアリングの社内施工班が対象です。毎年、施工技術センターにて、スマート施工のレベルアップを狙いとした研修を継続して行っています。



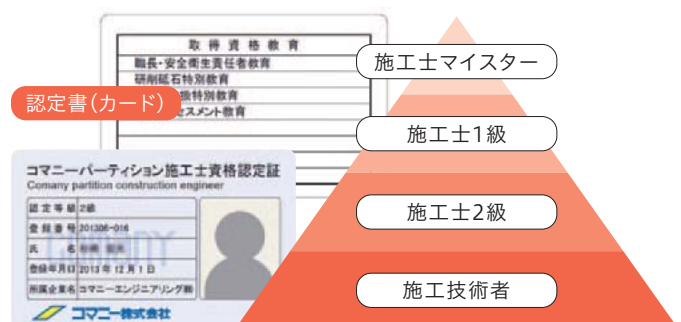
全国スマート施工競技大会

全国スマート施工競技大会は、お客様から感動・安心・信頼いただける所作と技能向上を目的としています。施工協力業者と一丸となって、施工改革を進めるため、コマニーグループの施工が進む方向(ビジョン)を共有・共感する場として開催し、全国から選抜された施工技術者が施工技術センターで心と技を競い合っています。



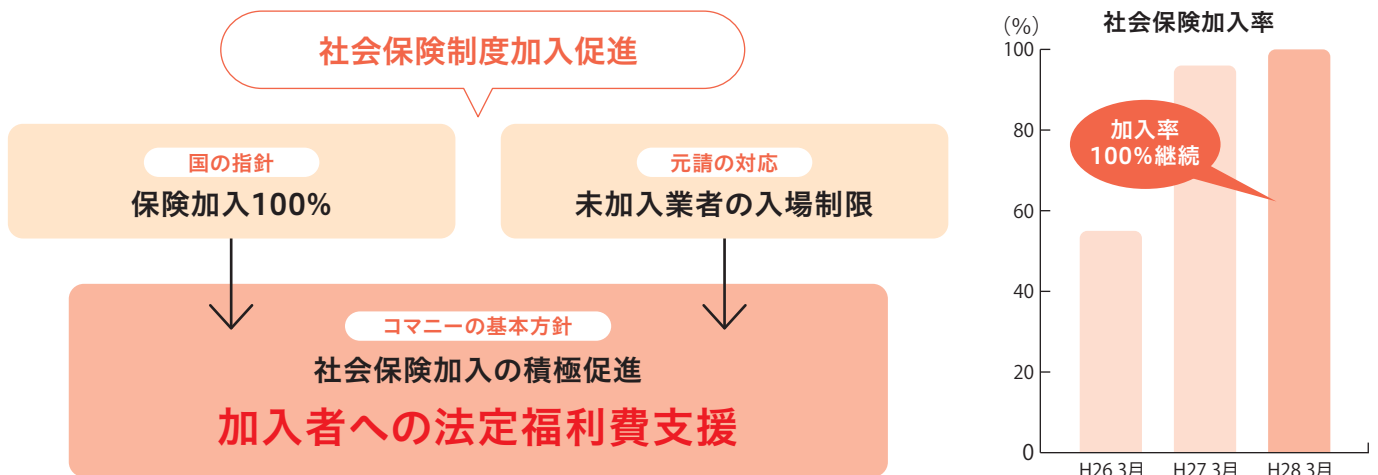
コマニーパーティション施工士資格制度

スマート施工確立の一環であり、自己研鑽を奨励すると共に目指す技能を見える化する制度です。国家資格の内装仕上げ施工技能士制度には、「パーティション工事」の技能士はありません。そこで、将来公に認められる資格制度を目指し、コマニー独自で高い技術力に対する信頼の証として施工士資格制度を設けました。パーティション施工士2級、1級、マスターの3段階を設定しており、2016年7月現在の認定者数は2級が約250名、1級が2名、マスターは今後認定予定です。



施工協力業者への社会保険制度加入促進

医療・年金などの公的保障を確保することによる若年入職者減少への歯止めや、法定福利費を負担している業者が競争不利になる矛盾を解消するため、国土交通省より社会保険加入促進の方針が発表され、2017年度から未加入者は公共工事の現場から排除する指針が出されています。これを受け、2014年より加入促進策として、法定福利費を明記する標準見積書の活用と合わせ、加入業者に対する法定福利費助成制度の運用を開始しました。その結果、運用前は約50%であった社会保険加入率は100%を達成しています(2016年9月現在)。このような取り組みを通じ、今後も施工協力業者が安心して仕事ができる体制を構築しています。



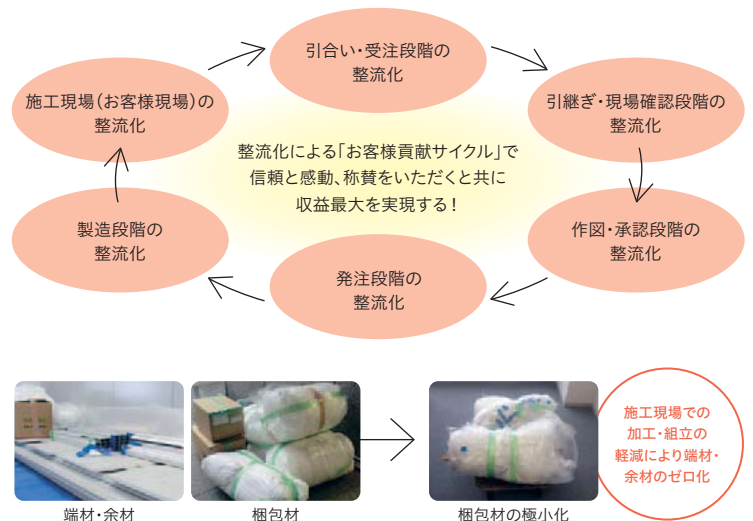
社内施工班

少子高齢化による建設技能労働者不足はパーティション業界でも深刻です。このリスクには施工協力業者だけではなく、コマニーグループの課題として取り組む必要があります。そこで、コマニーエンジニアリングと連携し、若い施工技術者をグループ内で育成することで高齢化を抑制すると同時に、これまで培ってきた施工技術の伝承にも取り組んでいます。また、グループ内で育成した施工技術者は、スマート施工を十分に理解・実践し、スマート施工の先導者としての役割を果たしていきます。



施工現場の改善活動

そもそもパーティションは現場施工によって完成品になることから、現場状況やお客様との確認が不十分な場合には計画通りの工事で完了しないことも珍しくありません。このような変更や後戻りは、付加価値が低いばかりか、結果としてお客様に感動や信頼もいただけません。そこでコマニーでは、整流化による「お客様貢献サイクル」へ仕事を変革し、変更・後戻りや現場での加工・組み立てが発生しない施工現場の実現に取り組んでいます。



3 地球環境との共存

私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」そのものがもつエコ特性を活かし、商品展開を推進すると共に、生産活動において発生するエネルギーに対しても省エネ対策に取り組み、自然と共生できる企業活動を推進してまいります。

コマニーの環境保全活動

- ・ 二酸化炭素排出量削減
- ・ 不要物削減
- ・ 地域貢献活動
- ・ エコ商品売上高比率増大



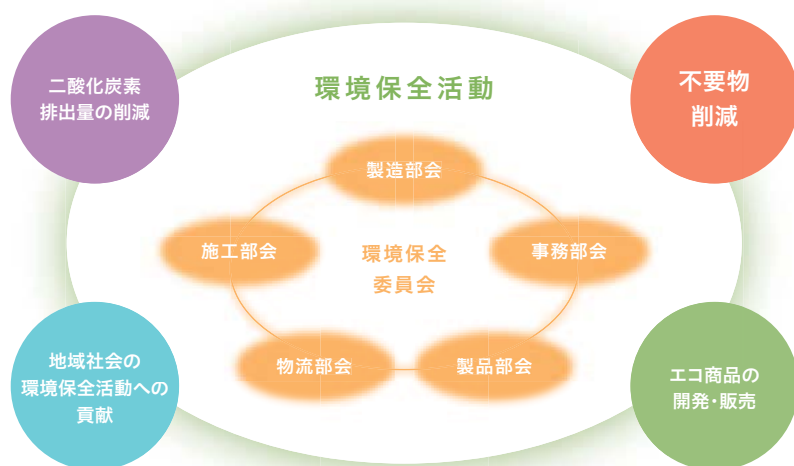
環境方針

コマニーは、パーティションにより屋内の快適空間・機能空間を創造し、お客様に提供することにより、社会の進歩発展に貢献する企業理念のもと、環境負荷の少ないパーティションの提供により、かけがえの無い地球環境の保全・保護を図り、自然と共生できる企業活動を目指します。

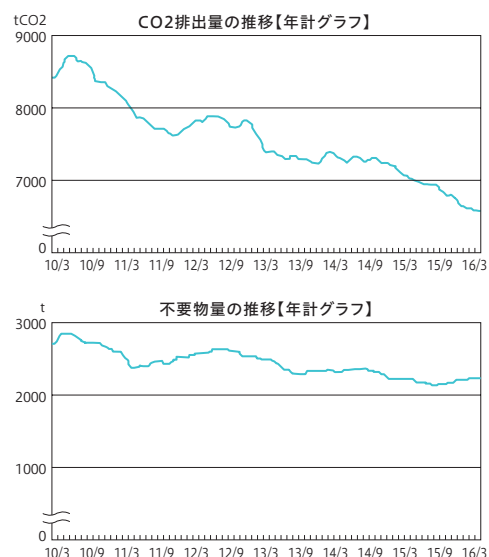
1. 環境関連の法規制およびその他要求事項は、遵守するに止まらず、技術的・経済的に可能な範囲で、自主基準ならびに手順を整備し、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. パーティションを提供する過程で、特に以下の項目については、環境目的ならびに環境目標を定め、環境保全に重点的に取り組む。また、環境目的ならびに環境目標は定期的に見直し、必要に応じて改訂を行います。
 - (1) 地球環境温暖化防止のため、エネルギーの節約に努め温室効果ガスの排出を削減します。
 - (2) 循環型社会に対応したパーティションの供給と資源の有効利用を推進します。
 - (3) パーティションの製造からお客様の使用段階、更には廃棄の過程を考慮した製品を供給します。
 - (4) 地域社会の環境保全活動に貢献します。

環境マネジメント体制

製造・事務・製品・物流・施工の5つの部会から構成する「環境保全委員会」を中心に、環境保全活動を進めています。



活動結果



○ 各部会の活動

製造部会

新塗装工場稼働

2016年5月に、新塗装工場が稼働しました。この工場では、電気、水、LPガスの使用量をリアルタイムで把握する「エネルギーの見える化」に取り組んでおり、使用の無駄を省くことで3割の省エネを目標としています。



事務部会

太陽光発電システムの稼働

2013年に、コマニー太陽光発電所が稼働を開始しました。太陽光発電を通じてCO2の削減に寄与し、国内の再生可能エネルギー確保に貢献していくことを目的としています。発電電力は400KWで年間のCO2削減量は134tCO2となっています(2016年3月期実績)。



コマニー絆の森 ～植林・保全活動～

2013年、石川県小松市内に「コマニー絆の森」が誕生しました。従業員の環境保護に対する意識向上を目的とするとともに、植樹を通じてCO2削減を推進するため、クロマツをグループ会社従業員とその家族で植樹しました。



全社一斉クリーン大作戦

環境美化活動を通じ、日頃からお世話になっている地域社会の皆様に感謝の気持ちをお届けしています。主に本社および営業所周辺の公共施設等で活動しており、日本全国を対象としています。



製品部会

エコ商品の開発

「エコマーク認定商品」「グリーン購入法適合商品」「コマニーエコラベル商品」の3本柱でエコ商品を構成しています。この中でもコマニーエコラベル商品は、環境に配慮した製品を認定するコマニー独自の基準です。この基準を運用し、パーティーを通じてお客様の環境負荷低減をお手伝いしています。



グリーン購入法適合商品

施工部会

廃材の削減に効果

実寸製作推進による施工廃材(不要物)削減を推進しています。

※詳細はスマート施工のページをご参照ください。

物流部会

モーダルシフトおよび出荷製品混載の推進

出荷製品の輸送手段をトラックから貨物列車などに切り替えるモーダルシフトのほか、1台のトラックで複数の物件を混載することによるトラック使用台数の削減を実践し、輸送によるCO2排出量の削減を推進しています。



4 人間性尊重の職場づくり

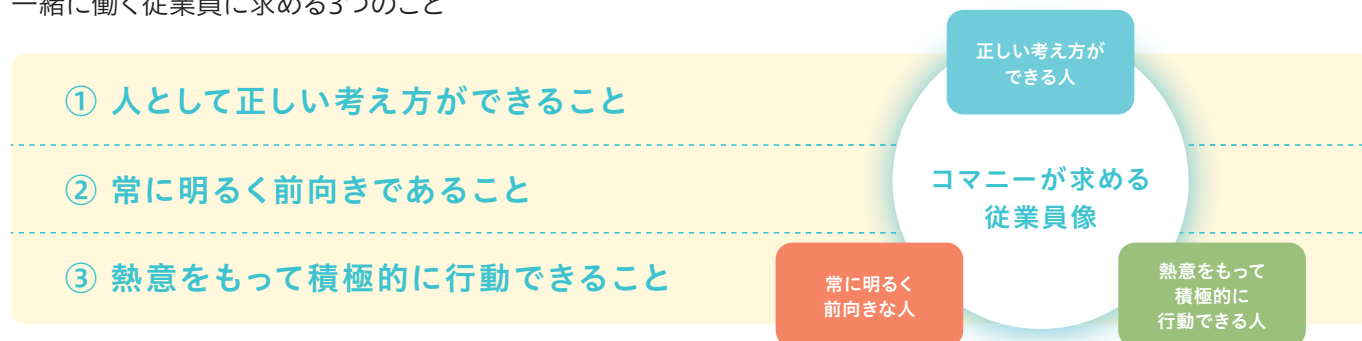
私たちは、すべての従業員が主役となり、働きがいと成長を感じられる職場環境を実現するため、一人ひとりの人間性を尊重し、活躍の場を与えられる制度づくりと、常に明るく前向きに活動できる組織風土づくりに努めてまいります。

4-1 人づくり

○ 人材育成について

自ら成長し続けることができる人材を育成する

一緒に働く従業員に求める3つのこと



コマニーではこの3つをととても大切にしています。

専門的な知識やスキルは、仕事を進める上で身に付けていくことが可能ですが、それはこの3つができていないことではじめて結果につながるものだと考えています。そこで、自らの成長のためには、まず自ら考え、自ら答えを出し、自ら動いてみるのが大切であると考えます。動いた先には必ず結果が出ます。良くも悪くも結果が出たということは、その結果の体験ができたということです。結果から気づきや学びを得、成長することができる、そこには無限の可能性があり、ます。コマニーでは、従業員全員が、その可能性を信じ、自らの力を最大限発揮できる研修や制度を設けています。

理念研修

「コマニー理念」を体得するための研修です。グループ社員全員が毎年受講し、「心をベースとして経営する」「利他の心を判断基準にする」といったコマニーが大切にしている理念の体得を中心に、仕事との向き合い方や、仲間とのコミュニケーションの取り方などを学んでいます。



幹部研修

外部講師を招いて、幹部としての考え方や部下育成に対する心の在り方など、経営者としての哲学を学びます。



新入社員研修

入社から約半年間は、合宿研修やボランティア研修、座学、実習などを通じ、コマニー理念や基礎知識、問題解決能力の習得に取り組んでいます。



ブラザー制度

各部署に配属後半年間は、新入社員一名に対し、先輩社員（ブラザー）一名が付き、仕事の進め方から時にはプライベートなことまで、公私にわたりバックアップします。



○ キャリアアップサポートについて

コマニーでは、就業年数の浅い従業員のサポートや、自分自身を磨きたいと思う積極的な従業員をサポートするカリキュラムも取り入れ、常に従業員のキャリアアップを図っています。

階層別・職種別スキル教育

入社2年目・3年目・5年目研修、OJT教育を通じ、社会人としてのマナーから職種別スキル、より専門性の高いスキルなどを社内講師から学んでいます。



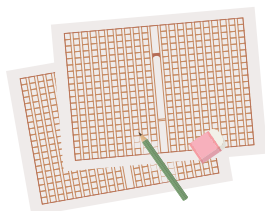
通信教育制度

従業員の自己啓発による能力開発を目的とした通信教育講座を会社で用意し、職種や階層に応じて、自分に必要な各種講座を受講することで能力向上を目指しています。



社内論文制度

自分の思いや考えを経営サイドに直接アピールできる制度です。応募された論文に社長自らが目を通し、優秀な論文は社長賞として社内発表されます。



4 人間性尊重の職場づくり

4-2 仲間との絆を深められる職場づくり

○ 社内イベント

大家族主義の考えに基づき、さまざまなイベントを企画。従業員同士の絆を深めています。



大運動会



ボーリング大会



忘年会

○ 定年退職者感謝の会

毎年、定年退職者の方を対象に、役員や職場の仲間も出席する懇親会を開き、長年の勤務への感謝を伝えています。

また、定年後も引き続き従業員との親睦を深めることができるように、「友愛会」を設けています。



4-3 ダイバーシティ[※]の推進

[※]ダイバーシティは多様な人材を積極的に活用しようという考え方

コマニーでは、さまざまな価値観・発想をもつ多様な人材が十分に能力を発揮でき、積極的に働くための職場環境づくりに取り組んでいます。

育児休業の取得により、
子育てをしながら安心して勤められる職場の推進

短時間勤務による、家庭をもつ女性が働きやすい職場の推進

短時間勤務による、介護が必要な家族をもつ従業員が
働きやすい職場の推進

働く意欲のある定年退職者が、
自らのスキルを生かして働ける職場の推進



4-4 安心・安全に働ける職場づくり

私たちは従業員の安全・健康が企業活動の基盤であると認識しています。

従業員の安全と健康を確保するため、「安全第一」の精神を基本に災害の未然防止活動を重点的に行い、また健康管理面では健診を充実させるとともにメンタルヘルスにも取り組み、従業員が安心して働ける職場環境づくりを推進してまいります。

1. 安全衛生基本方針

本社・営業所、およびグループ会社の従業員一人ひとりが安全衛生に対する意識を高め続け、有意注意で未然防止の観点から危険の芽を摘み取り、再発防止にも努めることで従業員が健康で安全に働ける職場環境に取り組めます。

2. 安全の目標

不慮災害発生件数 0件／年

交通事故発生件数 0件／年

3. 重点実施活動

安全衛生の取り組み

小さな危険の芽を見逃さず、労働災害を未然に防ぐとともに、従業員の健康状態の把握に努め、メンタル対策にも取り組んでいます。

- ・ リスクアセスメント活動、ヒヤリ・ハット、危険予知活動の実施 1回／月
- ・ 従業員のストレスチェック実施 1回／年



交通安全の取り組み

安全運転管理者を中心に、車両管理、安全運転への意識を高める啓蒙活動を行い、事故の未然防止に取り組んでいます。

- ・ 衝突回避機能を搭載した社用車の導入
- ・ 本社：交通安全講習会の開催
- ・ 交通安全についての啓蒙
- ・ 営業所：危険感受度診断の実施



防災・防火の取り組み

災害・緊急時の対応力を強化するために訓練を実施し、非常時でも安否確認できる体制構築に取り組んでいます。

- ・ 本社：防災訓練 1回／年、火災訓練 5回／年
- ・ 営業所：各テナントの防火・防災訓練への参加、安否確認訓練 2回／年

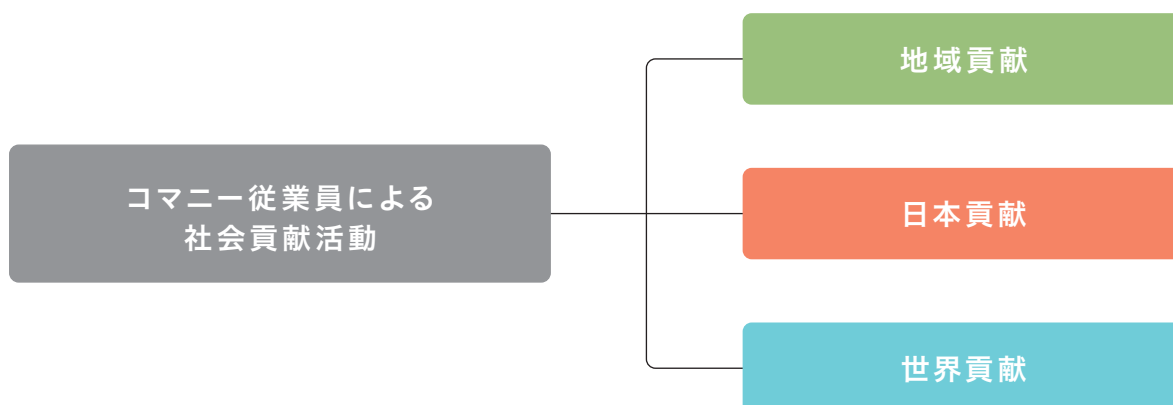


5 社会貢献活動

私たちは、将来にわたって子どもたちに明るい未来を残すため、従業員自らの良心によって主体的に活動することを基本に考え、地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。

コマニーの社会貢献活動

私たちは「企業は社会の幸福に貢献するために存在すべき」という信念のもと、企業活動を行っています。その活動は私たちの事業活動にとどまらず、それによって得られた利益と私たちのもつ良心と人的リソースを最大限に発揮し、より貢献を広げるために何ができるかを考え、行動することで社会貢献活動を展開しております。将来にわたって、より明るい未来を築いていくことができるように、私たち一人ひとりが主体的に考え、自らの良心によって主体的に活動することを大切にしてい地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。



従業員自らが考え、 企画した社会貢献活動

コマニーでは、従業員自らが「私たちにできる社会貢献は何か?」「どんなことをして、社会に貢献したいか?」について意見を出し合っています。

その結果、「楽しみながら社会貢献を」「家族や地域の方へ感謝したい」という思いから「コマフェス」が生まれました。さらに、「子どもたちの未来のため」「平和な世界のため」になる活動を望む従業員の思いが、さまざまな貢献活動につながっています。



コマフェス



社員自ら話し合い、貢献活動を実施

5-1 地域貢献

コマニー発祥の地であり、ともに歩んできた地元のお役に立ちたいと、地域でさまざまな活動を展開しています。

コマフェス

「楽しみながら社会貢献を」

従業員ができる社会貢献を自ら考え企画し、「社会貢献を楽しみながら行いたい」「家族にコマニーの良さ、コマニーらしさを感じてもらいたい」、そんな思いから生まれた地域社会への貢献イベントです。

コマフェスでは、子どもたちへのものづくり教室や、新入社員のよさこい披露、社員で結成されたプラスバンドのコンサートなどが行われ、模擬店やフリーマーケットでの収益は、小松市をはじめ、各団体に寄付をしています。



全社一斉クリーン大作戦



毎年、全社一斉クリーン大作戦として、全国30拠点で清掃活動を実施しています。環境美化活動を通じ、日頃からお世話になっている地域社会の皆様へ感謝の気持ちをお届けしています。

コマニー絆の森



2013年10月、石川の森づくり推進協議会のご支援のもと、小松市日末町に「コマニー絆の森」が誕生しました。CO2削減を推進する活動として、地域社会、地球環境の保全に貢献しています。

コマニー野球部の野球教室



地域のスポーツ発展に貢献するため、中学生を対象とした野球教室に指導員として参加し、技術だけでなく、野球に取り組む姿勢や心構え、感謝の気持ちを忘れないことを伝えています。

中学生への職業訓練アドバイザー講演



生徒たちが、将来の夢を描き、進路について考えるきっかけとなることを願い、地元の中学生の進路選択や職業観育成を目的とした講演会に、職業アドバイザーとして参加しています。

工場見学



地元の小・中・高校生の社会科見学の場として、当社の工場見学を行っています。製造工程の見学や商品に触れてもらうことで、ものづくりの素晴らしさを知ってほしいと願っています。

学生の職業体験



毎年、地元の高校生に職業体験の場を提供しています。学生たちは、体験を通して、働くことの大変さや楽しさを学んでいます。

職場見学



従業員の家族を対象に、日頃働いている職場を「見て・知る」見学会を行い、家族とのコミュニケーションの充実を図っています。

プルタブ回収



地域の福祉施設に車椅子を贈るためにプルタブを回収しています。回収したプルタブは、地域で活動している団体に寄付しています。

5 社会貢献活動

I 5-2 日本貢献

全国各地に販売拠点やショールームを構えるコマニーでは、そのネットワークを生かし、環境・災害・福祉を中心とした積極的な社会貢献活動を全国で展開しています。

コマニーは企業として、従業員が自発的に取り組むボランティア活動を支援し、地域の方々とともにお互いを尊重し、支え合う豊かな社会の実現を目指しています。

南三陸町ボランティア



2011年3月に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町で、毎年継続してボランティア活動を実施しています。

常総市水害ボランティア



2015年9月、茨城県常総市で大規模な水害が発生しました。コマニーでは、社員有志が自分たちに今できることは何かを考え、ボランティア活動を実施しました。

熊本ボランティア



2016年4月に大きな地震が発生した熊本で新入社員がボランティア活動を行いました。現地では、瓦礫の撤去や清掃など、自分たちにできることに精一杯取り組みました。実際に現地を訪れ、ボランティアを行ったことで、現地で本当に必要としているものを知ることができ、集まった義援金で現地で活動するNPOに車の支援を行うことができました。

レモネードスタンド



『アレックスのレモネードスタンド』を取り上げた映像をきっかけに、日本の小児がんで苦しむ子どもたちを救おうと、会社で行われるイベント時にレモネードスタンドを実施しています。

アレックスのレモネードスタンド



アメリカでがんを患いながらも同じ境遇の子どもたちのための研究費を集めるためにレモネードスタンドを開き、8歳で生涯を閉じたアレクサンドラ・スコットの意志を継いだ活動。



社内施工体制の充実

コマニーは、パーティションを組み立てる社内施工体制の充実に取り組み、慢性的な職人不足や若者の職人離れなどの社会現象への対策を講じています。

また、専属の施工業者に対して社会保険料を補助し、安心していきいきと働ける環境の構築を図っています。

さらに、業界のトップメーカーとして、パーティションの施工資格の推進やスマート施工大会の開催を実施し、施工業者の待遇改善やスキルの向上、技術の伝承などにも取り組んでいます。



5-3 世界貢献

世界各地には解決を必要とする多くの課題があります。

グローバルに事業を展開する企業としての責務を果たすべく、幅広い課題の解決に努力を惜しみません。

国や地域を隔てることなく、一人ひとりができることに向き合っています。

カンボジア井戸掘り支援活動

地球の宝である子どもたちの明るい未来のために、世界でできる社会貢献は何かを従業員が考えています。そのひとつとして、水のインフラが整備されていないカンボジアの農村部に井戸を支援する活動を行っています。何時間もかけて水汲みをしなくてはならない子どもや、不衛生な水で病気になる子どもたちを救いたい、そんな思いからこの活動は始まりました。実際に社員がカンボジアを訪問し、自分たちの手で現地の方と一緒に井戸を掘り、従業員から集まった募金を学校の土間建設に役立て、教科書・文房具などの支援物資を子どもたちに届けるなど、現地の人たちとの交流を深めながら活動しています。



ピースフレイムムーブメント

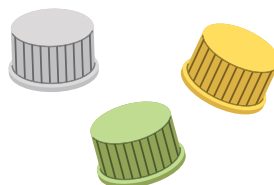
1945年8月6日に広島に投下された原子爆弾の残り火は、今日まで消えることなく守られ、燃え続けています。当初は、憎しみの火、報復の約束の火として、長い歲月人知れず燃やし続けられてきましたが、現在は住民の希望により「平和の火」として守られ続けています。「ピースフレイムムーブメント」とは、この原爆の残り火を全国一斉に灯す平和ムーブメントです。

コマニーでは、この「平和の火」を使わせていただき、全国一斉にピースキャンドルナイトを実施することで、従業員だけでなく、その家族や地域の皆様と共に、平和を考え、祈るピースアクションを起こしています。



エコキャップの回収

発展途上国の子どもたちにワクチンを届けるため、エコキャップを回収し、本社がある小松市社会福祉協議会に寄付をしています。

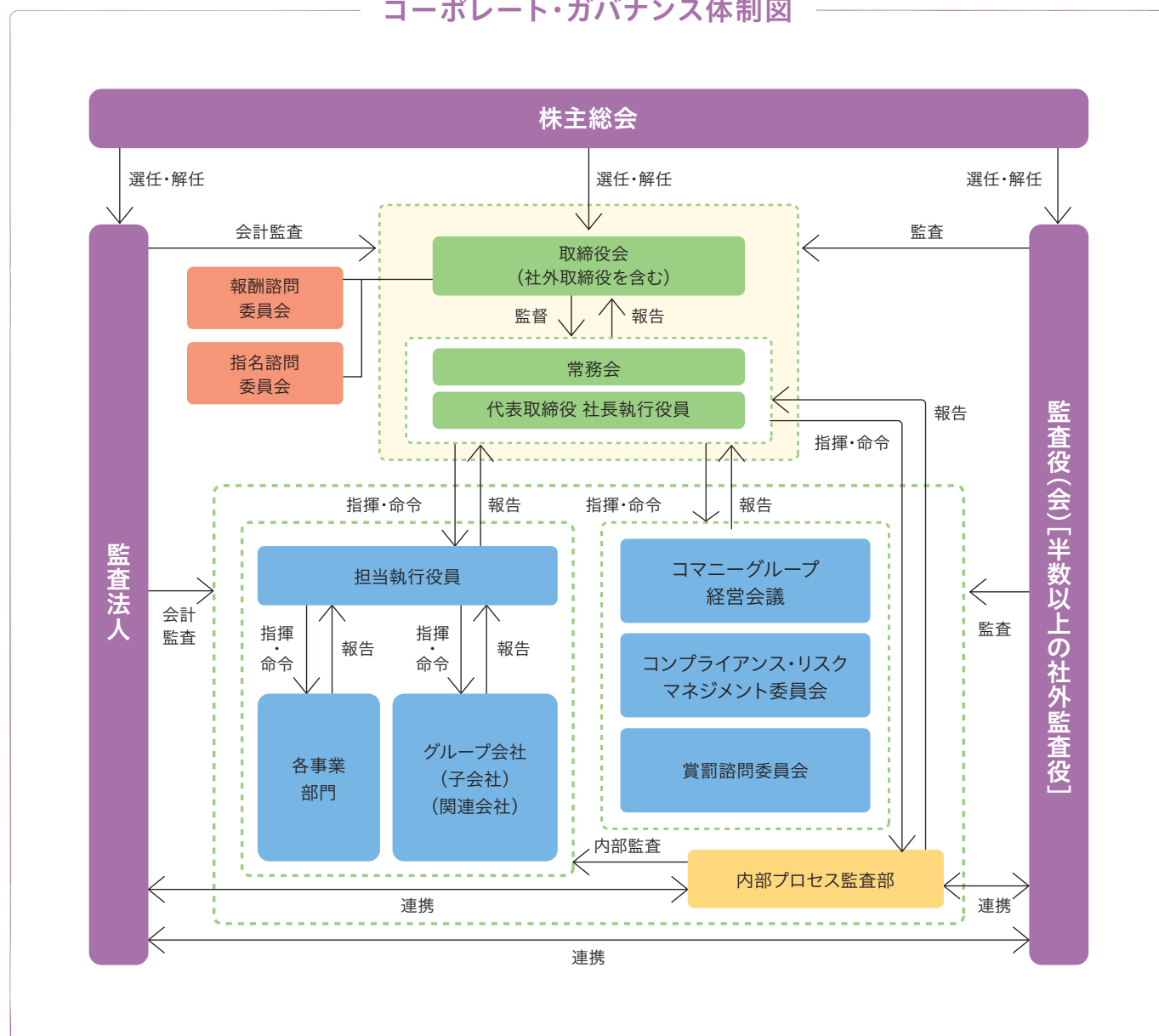


6 コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

私たちは、経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営効率を高め、公正で迅速な意思決定の向上に努めていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。今後も経営の健全性および透明性を確保するために、経営監督機能および法令遵守体制強化の重要性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。私たちは、社会やさまざまなステークホルダーに信頼される企業であり続けるために、多様な視点、長期的な視点からコーポレート・ガバナンス体制を構築してまいります。

主な取り組みといたしまして、報酬諮問委員会および指名諮問委員会の設置、社外取締役の独立性に関する基準の策定等を行い、経営の透明性と客観性の向上を図っております。

コーポレート・ガバナンス体制図



Ⅰ コマニーのコンプライアンスおよびリスク管理に関する取り組みについて

コマニーグループは、コンプライアンス、リスクマネジメントに関する規程整備を行うとともに、関係会社を含む管理部門の役職員を構成員メンバーとする「コンプライアンス・リスクマネジメント委員会」を毎月開催し、コンプライアンスの浸透および重要リスクの低減に努めております。

また内部通報窓口を、社内と社外の弁護士事務所の2カ所に設置することにより、不正行為などの早期発見と是正に努めております。リスクマネジメントについては、毎年全社のリスクを抽出し、事業継続の観点から重要なリスクテーマについての改善を行い、PDCAサイクルを回しながらリスク低減活動に取り組んでおります。

Ⅰ 会社概要

商 号	コマニー株式会社 COMANY INC.
住 所	本 社 石川県小松市工業団地一丁目93番地
設 立	昭和36年8月18日
資 本 金	7,121,391千円(2016年3月31日現在)
証券コード	7945(東証二部、名証二部)
営 業 品 目	建 築 工 事 業 国土交通大臣許可(特-26)第3669号 内装仕上工事業 国土交通大臣許可(般-26)第3669号 建 具 工 事 業 国土交通大臣許可(般-26)第3669号



○ お問い合わせ先

経営企画部 TEL 0761-21-1201
FAX 0761-24-1901

本報告書はコマニー株式会社ホームページにも掲載されております。

URL <https://www.comany.co.jp/>





コマニー株式会社
〒923-8502 石川県小松市工業団地1丁目93番地 TEL 0761-21-1144(代)

<https://www.comany.co.jp/>

UD
FONT



このカタログは、環境に優しい
植物油インキを使用しています。

第1版

○このカタログの内容は2016年10月現在のものです。○商品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。○カタログの写真は印刷のため、商品の色と多少異なる場合があります。

B1605-①-1-1500